

市立中学校における通知表の誤記載について

みたけ台中学校において、令和2年10月12日に配付した前期の通知表の評定に誤記載があることが判明しました。校長、学年主任及び技術・家庭科担当教諭は、生徒及び保護者への謝罪と説明を行うとともに、誤った通知表を正しいものに差し替えました。

1 誤記載の内容

第2学年（101名）のうち、1名の評定（技術・家庭科）

【評定】：各教科の「観点別評価」を総括的に評価したもの。

【観点別評価】：各教科について「関心・意欲・態度」などの観点ごとに評価するもの
（当該中学校はA[○]～Cの5段階）。

2 学校名

学校名 横浜市立みたけ台中学校 校長 小林 誠
生徒数：310名 教職員数：29名（令和3年3月25日時点）
所在地 横浜市青葉区みたけ台30番地

3 経過

令和2年10月12日（月） 前期の通知表を配付しました。

令和3年3月15日（月） 技術・家庭科担当教諭が年度末の成績処理の準備をしている際、2年生1名分の前期の評定に誤りがあることが判明し、学校管理職へ報告しました。学校は関係生徒保護者に電話し、謝罪と説明を行いました。

3月16日（火） 関係生徒へ謝罪と説明をし、通知表の差替えを行いました。

3月17日（水） 校長、学年主任及び技術・家庭科担当教諭は、来校した関係生徒保護者へ改めて謝罪と説明を行いました。

4 誤記載が発生した主な原因

技術・家庭科担当教諭は、観点別評価・評定を入力した記録簿（提出物や試験答案等の評価資料をもとに数値や記号、言葉などで評価を記録しておくもの）を点検した後、記録簿内の評価の訂正を行った際、誤って評定も操作してしまいましたが、そのことに気が付かず、そのまま校務システムへ反映させてしまいました。

また、他の教諭が、目視により成績一覧表と記録簿との照合による点検を行いました。見落とし、そのまま通知表に反映してしまいました。

5 再発防止に向けた取組

- (1) 通知表の誤記載の具体例に基づいた不祥事防止研修を今後実施し、評価資料を作成する際、改めて記録簿の記載内容の確認を徹底します。
- (2) 手順書の活用方法を見直し、複数名による通知表作成と点検の体制を改善します。
- (3) 手順書に基づいた通知表作成のスケジュールを見直し、十分な点検時間を確保します。

お問合せ先

教育委員会事務局北部学校教育事務所 指導主事室長 梅澤 薫 Tel 045-944-5978